



↑ さらびやかな衣装に身を包んだ子どもたちの稚児行列は、会場に花を添え、来場者を楽しませました。

花輪商店街に笑顔があふれる

かづの子どもフェアが開催

「こどもの日」の5月5日、花輪商店街でかづのこどもフェアが開催されました。

花輪小学校のマーチングバンドによるパレードで幕を開け、児童らの楽しげな演奏は、会場を盛り上げました。その後

に行われた稚児行列では、子どもたちがゾウの神輿を引きながら歩くかわいらしい姿に、多くの来場者が目を細めていました。

昨年はいにくの悪天候でしたが、今年は天候にも恵まれ、多くの子どもたちが訪れていました。花輪ばやしの演奏体験やかたる飛ばし大会など、各種ブースからは子どもたちの笑い声が絶えず聞こえる楽しい1日になりました。



上／小学生の演舞ではひときわ大きい歓声が上がりました。右上／「わっしょい」と威勢のよいかけ声でみこしが登場しました。右下／保育園児も一生懸命踊りました。



まちの話題

CITY TOPICS

尾去沢山神社祭典

活気あふれる300人の踊り

尾去沢鉦山のゆかりの山神社祭典が5月14日から2日間にわたって開催され、尾去沢地域は活気に満ちあふれました。かつて日本一の銅山を誇った尾去沢鉦山の繁栄を願い、山の神を奉ってきたこの祭りは、閉山後も地域の活力を保つようと地元有志により続けられ、地域の一大イベントとして引き継がれています。

幕開けとなる14日の宵宮祭では、市指定無形民俗文化財である「からめ節金山踊り」が奉納されました。また、保育園児から大人まで総勢300人が一堂に会し、演舞する15日のかなやまソーランでは、会場となった市街地地区の沿道に多くの観客が詰めかけ、踊り手にはたくさん拍手が送られました。



↑ 児玉市長は「ユネスコ認定後初となる今年は、本市の誇る夏祭りを通じて、鹿角の魅力を発信したい」と抱負を述べました。 KAZUNO CITY 2017年6月号

花輪祭の屋台行事 ユネスコ無形文化遺産登録 認定書が本市に届き、喜び再び

5月9日、花輪ばやし祭典委員会会長の戸澤正英さんが市役所を訪れ、5月4日に富山県南砺市で行われた全国山・鉦・屋台保存連合会の総会で文化庁長官か

ら受け取った「花輪祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産認定書を、児玉市長に伝達しました。戸澤会長は「昨年12月2日に登録となり、12月4日

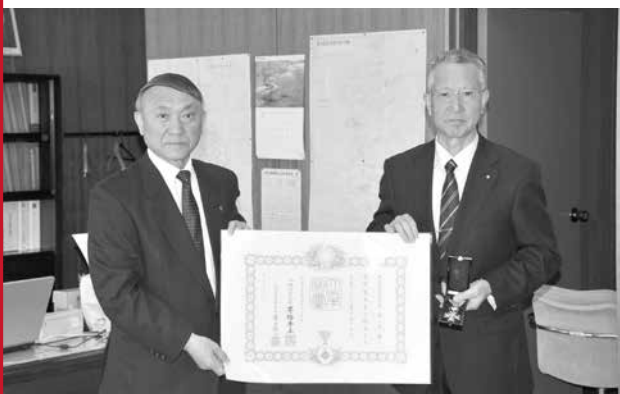
には祝賀屋台パレードを開催したもの、ユネスコ登録の証がなかった。しかし、今回認定書をいただけたことで、ユネスコの登録をあらためて実感した」と喜びを述べました。

長年にわたる消防団活動への貢献

黒澤文男さん 春の叙勲

黒澤文男さん（尾去沢）が長年にわたる消防団活動への貢献から瑞宝双光章を受章し、5月17日、報告のため児玉市長を訪れました。黒澤さんは昭和44年に尾去沢消防団に入団し、平成21年から昨年まで消防団長を務めるなど、約47年にわたり地域の防災に貢献してきました。平成25年の豪雨

災害の時は、いち早く消防本部へ駆けつけ、米代川水位の監視や土のうの準備、避難勧告発令地区の避難誘導を指揮し、人的被害ゼロに寄与するなど、地域の安全を守ってきました。児玉市長は「長い間市民の安全を守る活動に尽力いただきありがとうございます」と受章を称えました。



↑ 黒澤さん(写真右)は「身に余る光栄。仲間の支えがあってこそ」と受章の喜びと感謝の気持ちを述べました。



↑ 顕彰式は神田さんの自宅で行われ、家族らが祝福しました。(ハナさんは写真左から3人目)

百歳長寿顕彰式 神田ハナさん 百歳を祝う

神田ハナさん（八幡平）が5月18日に満100歳の誕生日を迎え、児玉市長が顕彰状と祝い金を贈り、長寿をお祝いしました。

ハナさんは18歳のとき結婚し、家業の農業に従事しながら夫を支えました。農業を子どもたちに譲った後は、自宅から歩いて5分の場所にある神社の掃除を毎月欠かさず行うなど、地域に尽くしてきました。目が良く、本を読んだりテレビを見たりするのが好きで、現在は週1回のデイサービスに通いながら、家族と楽しく暮らしています。